



五小だより



五小ブログ



五小ボランティア

6月号

令和5年 5月 31日

国分寺市立第五小学校

校長 橋本 弥記

さあ、これから

教務主任 加藤 美穂

長かったコロナ禍での学校生活も、やっとトンネルを抜け出して明るさが見えてきたように思います。先日は、入場制限のない運動会を4年ぶりに開催することができました。応援団や選抜リレー、赤白対抗形式も復活して、子どもたちは赤組・白組それぞれ一丸となって大きな声で応援し、演技や競技で力いっぱいの活躍を見せました。保護者・地域の皆様にもたくさんのご声援をいただき、たいへんな盛り上がりを見せた運動会でした。多数ご来場くださり、ありがとうございました。

さて、今年度もう一つ、4年ぶりに実施できた行事がありました。それは、離任式です。昨年度は密を避けるため、6年生だけが体育館に入って離任した職員の話聞き、他学年はオンラインで画面越しに話を聞く形となりました。今年度は、ぜひとも対面でお別れをしたいという思いから、2年生から6年生までが体育館に一堂に会して行う形としたのです。体育館がかなり混み合うので、換気には万全の注意を払いながらの実施となりましたが、やはり、生での対面は子どもたちの心を揺さぶったのでしよう。涙、涙のお別れとなりました。みんなで声をそろえて歌う校歌もまた、圧巻でした。コロナ禍では、校歌を思い切り歌うことすら、ままならなかったのですから。

様々な制限がなくなったことで、行事だけでなく、この3年間あきらめざるをえなかった学習活動もまた、以前のように活発になっていくことが期待されます。5月13日に行われたコミュニティ・スクール協議会では、地域の協力をいただきながらどのような学習活動が展開できるかを、協議会委員の皆様と教員とで話し合いました。学校だけでは実現できない、地域に根ざした学習を、地域の皆様のお力と共に、昨年度よりもさらに活発に進めていくことができそうです。

対面の良さ、生の学習の良さを、子どもたちにはたくさん味わってほしいと思います。地域の方々と進める学習体験が、地域を愛する気持ちとともに、地域の人々との触れ合いを大切にする心を子どもたちに育んでいくことを願っています。